

静岡県男女共同参画センター図書館システム業務端末機器等賃貸借契約書に係る仕様書

1 概要

本仕様書は、静岡県（以下「発注者」という。）と、静岡県男女共同参画センターあざれあ図書室における図書館システム業務端末機器等の賃貸借の業務を締結した者が行うべき業務の詳細を示したものである。

2 調達及び構築の期限

令和7年9月30日

令和7年10月1日から図書館システムによる図書サービス業務が稼働できるように、上記期限までに図書館システムに係る各種設定・移行作業及び操作方法の説明等を行うこと。

3 納入場所

静岡県静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

静岡県男女共同参画センターあざれあ図書室

4 ソフトウェア（図書館システム）の仕様

（1）採用する図書館システムについて

下記（2）から（6）の要件を満たすことのできるクラウド型図書館システムとして今回採用するシステムは下記のとおりである。

（参考）商品名 WebiLis 型番 SVS002205（開発元 富士通株式会社）

（2）ソフトウェア（図書館システム）構成

機器	数量
WebiLis 基本システム+WebOPAC セット（1クライアントライセンス付き）所蔵10万冊未満	1式
追加クライアントライセンス 1ライセンス	1式

（3）基本要件

ア 今回調達する図書館システムについては、長期間にわたって費用対効果を発揮し、業務の効率的な運営ができるクラウドシステム（SaaS型）とする。なお、クラウドシステム使用契約に対する期限の制約はないこととする。

イ ネットワークを通じて、安定かつ確実に図書サービス業務を遂行できるシステムにする。

ウ ウィルス対策や個人情報の漏洩防止対策などのセキュリティ対策に十分配慮したシステムとする。

エ インターネットを通じて24時間365日いつでも蔵書検索・予約を行うことができるシステムとする（システムの保守・保全に必要な場合を除く。）。

オ システムのソフト・ハードともに十分な安定性と実績を持ち、故障発生時には迅速に対応可能な保守体制を確保できること。

カ 業務システムのレスポンスが十分考慮された処理能力のあるシステムとする。

キ 静岡県横断検索システムに対応・参加できるシステムとする。

ク 静岡県地域資料MARC（静岡県立中央図書館提供）が登録できるシステムとする。

ケ 調達後は、ソフトウェアのバージョンアップを提供すること。

<参考> あざれあ図書館の登録及び利用に関する基本データ

	令和6年度	予測（5年後）
所蔵数	37,476 冊	38,000 冊
利用登録者数	10,672 人	11,000 人
貸出冊数（年間）	7,116 冊	8,000 冊
利用人数（年間）	4,473 人	5,000 人
予約件数（年間）	418 件	500 件

（4）機能要件

ア 窓口業務（カウンター業務）

イ 資料検索

ウ 利用者管理

エ 資料管理業務

オ 帳票出力

カ 蔵書点検業務

キ 発注業務

ク インターネットサービス

- ・インターネット上に OPAC 機能を有し、パソコン用ブラウザ及び携帯電話から蔵書検索、お知らせ等を閲覧できる機能を有すること。また、利用者個人の利用状況確認や予約入力等ができる機能を有すること。

- ・静岡県立中央図書館の実施する「静岡県横断検索システム」に対応・参加できること。

ケ その他の機能

※上記各機能の詳細は、別紙1「機能要件一覧表」のとおり

（5）クラウドサービス要件

ア サービスを行う図書システムが ASPIC 等の情報開示認定を受けていること。

イ 図書館 SaaS として ISO27017 を取得していること。

ウ 前日閉館状態のバックアップまで復旧できること。

エ サーバの資源使用量を随時監視すること。必要に応じて拡張計画を立案すること。

オ バックアップは3世代以上保管すること

カ 契約期間には、最短・最長とも期限を設けずに柔軟に対応すること。

キ 利用者の個人情報項目は、データベースに暗号化を施すこと。

（6）インターネット上の OPAC 機能について

インターネット上の OPAC 機能は、静岡県男女共同参画センターが運営するポータルサイト「あざれあナビ」からアクセスできるように、検索ページへのリンクを提供すること。

5 調達機器（ハードウェア）の仕様

前記4の仕様は、下記のハードウェアにおいて構築することを条件とし、これを満たすものであること。

（1）ハードウェア構成

機器	数量
業務端末機器（(Microsoft(R) Office Home& Business 2024 を含む）	2 台
蔵書点検機器 ・バーコードハンディーターミナル	2 台

蔵書点検機器用周辺機器 ・通信ユニット（充電機能付き） ・通信ケーブル ・コミュニケーター ・充電器・充電電池セット（2セット）	1 式
バーコードタッチリーダー	2 台
ファイアウォール、ネットワーク機器	1 式
端末台数分のウイルス対策ソフトウェア	1 式

ア 上記各機器の機能性能要件は、別紙2「ハードウェア機器仕様一覧表」のとおり。

イ なお、プリンタについては、現在図書室に設置している機器を使用するものとし、調達機器と連携するものとする。

ウ 業務用端末は、図書室カウンターに設置する。

6 ネットワーク要件

(1) インターネット回線は、発注者が準備する回線を使用すること。

＜回線名＞ フレッツ光ネクストF集

(2) 図書館システム構築費には、図書室内における端末及びネットワーク機器一式の設置・接続に係る一切の費用を含むものとする。

7 データ移行要件

現在図書室が使用している現行の図書館システム（WebiLis）内に保有しているデータは、新たに導入する図書館システムに移行処理すること。

(1) 移行データは、書誌データ、所蔵データ、利用者データ、貸出データ、予約データとする。

(2) データ移行においては、蔵書ごとの利用状況などの累積情報についてもすべて移行すること。

(3) データ移行作業は構築事業者が行うものとし、図書館システム構築費用に含めること。

(4) 現行事業者からの見積取得等は構築事業者が必要に応じて行うものとし、構築事業者の責任のもとで支障のないよう抽出・変換等の作業を行うこと。

現行事業者：東京コンピュータサービス株式会社 静岡支店

(5) システム稼動後にデータの欠損等が認められた場合は、構築事業者の責任においてデータの補完、復旧を実施すること。

(6) データ移行のために取り出したすべてのデータの所有者は、発注者であることを承知すること。

(7) 本仕様による導入後、次の移行時には、発注者と相談の上、その保管データ及び生成データを抽出し、発注者に対して受け渡しをすること。なお、当該抽出に係る費用は本仕様より除外するものとする。

8 情報セキュリティ対策

図書館システムでは個人情報を取り扱うため、高いレベルでのセキュリティ対策が必要であるため、次の事項を実施すること。

(1) クラウドシステムを運用するデータセンターにおいて、サーバ管理、入退室管理、災害対策などには万全の備えをするものとする。また、契約に先立って現地視察をする場合があるので、その対応が可能なこと。

(2) クラウドシステムを発注者が使用する際の通信はVPN やHTTPS 通信等の適切な暗号化を施すものとし、万が一通信が傍受された場合に対しても安全を確保すること。

(3) 業務端末からシステムを利用する際、パスワード認証を必要とすること。また、システムにおいてはID ごとに操作できる機能・権限を設定可能とすること。

(4) 図書室利用者がWeb 予約等のサービスを受ける場合にも、パスワードによる認証を実施するこ

と。

- (5) 端末機器にはウイルス対策ソフトを導入し、5年分の更新ライセンス費用は図書館システム構築費に含めること。
- (6) 外部持出可能な媒体からの個人情報漏洩を防ぐため、USB、光学ドライブ、PCカード、シリアル、パラレル、赤外線通信などの各ポートの使用を制限する機能を用意すること。ただし、USB、PCカードは機器ごとに有効／無効の設定を可能とし、業務所必要な機器を接続しつつ、セキュリティを低下させる恐れのあるデバイス等を無効にすることを可能とすること。
- (7) システムの個人情報領域へのアクセスについてはログ履歴を蓄積すること。

9 運用保守要件

- (1) 日常のシステム運用については、基本的に自動運転とし、資料、利用者などの各データベースのバックアップもクラウドサービスの一環としてデータセンターで対応する。
- (2) 業務システムの運用時間は図書室の開館時間（平日9時から18時、土日祝9時から17時）＋閉館後作業（閉館後概ね1～2時間程度）に足るものとし、Webサービスの運用時間は24時間365日とする（計画的メンテナンスについては許容する。）。)
- (3) 県内に事業拠点を置き、図書館システムに精通した技術者によるシステム構築ができるとともに、運用に関して図書室からの相談、質問には全面的に支援できる体制であること。
- (4) 図書館システム運用に必要なマニュアルを整えること
- (5) システム導入時には、本格稼動前に図書室スタッフが自由に操作練習できる環境を用意するとともに、操作を問題なく習得できるよう、図書館システムの取扱（運用、端末操作等）に関して、図書室スタッフと調整の上、十分な操作研修、支援、立会い等を行うこと（2日以上）。
- (6) 蔵書点検作業等処理プログラムを導入後初めて実行する場合は、現場での支援を行うこと。
- (7) サポート体制は、構築事業者だけでなく導入パッケージシステムの開発元企業を含めた体制とすること。
- (8) 休日・夜間なども含め異常発生時の早期復旧体制を整えること。
- (9) 障害が発生した場合は、その原因究明及び早期復旧が可能である体制を整備すること。
- (10) 障害時の連絡対応、問診
- (11) 障害原因の切り分け作業
- (12) 不良部位の修理を行うとともに、必要に応じてソフトウェアの回復を実施すること。
- (13) 機器障害発生時には、技術者が訪問して、必要に応じた部品交換を実施すること。
- (14) 基幹サーバには稼動状況を常時監視する仕組みを取り入れ、障害発生をいち早く察知して保守対応できる仕組みを用意するとともに、メモリ障害・ディスク障害等の予兆監視を実施すること。
- (15) 図書館システムのパッチ提供、リビジョンアップの権利提供などのマイナーバージョンアップは随時行うものとし、技術提供サービス等契約期間の保守サービスを実施すること。
- (16) 問合せ窓口を設置し、障害発生時に図書室スタッフが滞りなく通報・作業指示を行える体制を取る。また、窓口を一本化すること。
- (17) 保守対応は、原則として開館時間すべてを受付可能とし、訪問修理に際しては図書室スタッフと十分な協議の上で対応すること。また、訪問修理の困難な製品については代替機等を用意し、業務に支障がないような体制を整えること。
- (18) システム障害発生時は図書室スタッフと十分な協議の上、土日祝日を含め技術者が現地訪問し、復旧対応を行うものとする。また、2時間以内に技術者等が駆けつけ、復旧作業開始が可能な体制とすること。
- (19) 保守作業及び運用支援に係る報告書を月1回提出すること。
- (20) 静岡県内に保守拠点を有すること。

別紙1 機能要件一覧表

①	窓口業務(カウンター業務)
	・貸出・返却・予約・資料検索・利用者検索・利用者登録・延長貸出・督促処理などの業務
	・他の窓口業務へ即座に移動が可能
(ア)	貸出
	・延長貸出が可能
	・返却予定日の変更が可能
	・貸出カードがなくても、氏名や電話番号の検索から貸出処理が可能
	・貸出中、予約中の資料の一覧が表示される
	・貸出中の資料に予約がついた場合、表示される
	・延長貸出した資料が表示される
	・延滞中の資料が表示される
	・貸出冊数オーバーの警告が表示される
	・カードの有効期限切れが表示される
	・貸出モードの選択が可能(館外貸出、館内貸出)
	・利用者コード、氏名、有効期限、貸出冊数、予約件数、督促日、貸出規則ごとの貸出冊数などが表示される
	・利用者通知、資料通知が表示される
(イ)	返却
	・返却モードの選択が可能(通常返却(利用者ごと)、ポスト返却、履歴参照返却)
	・利用者コード、氏名、有効期限、貸出冊数、予約件数、督促日、貸出規則ごとの貸出冊数などが表示される
	・利用者通知、資料通知が表示される
	・延長貸出が可能
	・返却予定日をメールで通知できること
(ウ)	予約
	・予約資料の状況、予約者の状況、利用状況が確認できる
	・利用者情報として、利用者コード、氏名、有効期限、予約件数などが表示される
	・予約連絡方法の選択が可能(電話、メール、ハガキ、FAX、不要など)
	・メールでの予約連絡が可能
	・予約連絡表が発行できる
	・資料情報として、書誌番号、資料コード、資料種別、タイトル、巻号、著者、出版社などが表示される
	・利用者通知、資料通知が表示される
(エ)	資料検索
	・②検索業務参照
(オ)	利用者検索
	・氏名、電話番号、生年月日、利用者コードから検索可能
	・検索条件に該当した利用者一覧が表示される
	・重複登録が表示される
	・利用者詳細画面へ即座に移動が可能
(カ)	利用者登録
	・③利用者管理業務参照
(キ)	延長貸出
	・貸出中の資料の一括延長、個々での延長が可能
	・資料ごとに延長回数の確認が可能
(ク)	督促処理
	・督促対象の絞りこみが可能
	・督促対象に該当した未返却者一覧が表示される
	・督促回数の更新が可能
	・ハガキでの督促状の印刷が可能
	・未返却者一覧の印刷が可能
	・未返却者一覧の・CSV出力等による二次加工が可能

②	資料検索
	•他の窓口業務へ即座に移動が可能 •資料管理業務と資料検索がそれぞれ独立していること
(ア)	検索
	•全資料種別での検索、資料種別ごとの検索が可能 •除籍後の資料、未所蔵の資料など全資料を含む検索、所蔵資料だけの検索が可能 •簡易検索が可能 •絞り込み検索が可能 •複合検索が可能 •発注検索が可能 •AND検索が可能 •OR検索が可能 •前方一致、中間一致、後方一致、完全一致の指定が可能 •登録したすべての書誌データおよびすべての所蔵データの各項目での検索が可能 •検索項目の設定変更が可能 •全角／半角や、ひらがな／カタカナ混在での検索が可能 •検索結果の履歴での保持、再表示が可能
(イ)	一覧
	•該当資料が一覧画面で表示される(資料種別、書名、副書名、巻次、著者、請求記号、出版社、現在場所、本籍場所など) •資料状態(通常、貸出中、予約中、除籍、紛失、発注中など)が色分け表示される •詳細画面への移動が可能 •検索条件、検索該当件数が表示される •検索項目別に並び替え表示される •該当資料の一覧、あるいは選択したものの印刷が可能 •該当資料の一覧、あるいは選択したものをCSV出力等による二次加工が可能
(ウ)	詳細
	•該当資料が詳細画面で表示される •書誌情報、所蔵情報の修正が可能 •所蔵状況、利用状況、予約状況、発注状況、内容細目が一覧表示される •所蔵状況、利用状況、予約状況、発注状況、内容細目が詳細表示される •年度毎貸出回数、貸出累計が表示される •最終利用者が表示される •印刷が可能 •CSV出力等による二次加工が可能 •発注追加が可能 •書誌予約が可能 •所蔵の追加が可能

③	利用者管理
	・他の窓口業務へ即座に移動が可能
	・氏名・電話番号・生年月日・利用者コードでの検索が可能
	・利用資格(個人、在勤、在学、団体、その他など)の設定が可能
	・複写登録(住所、電話番号などを参照して登録する)が可能
	・一覧出力が可能
	(ア) 以下の登録が可能
	・利用者コード(貸出カードのバーコード番号)
	・利用資格(個人・在勤・在住・団体・その他)
	・利用者氏名、ヨミ
	・生年月日
	・年齢
	・登録日付
	・有効期限(2年ごとに更新)
	・地区(県内市町郡単位)
	・住所(2項目)
	・郵便番号(2項目)
	・電話番号(3項目)
	・メールアドレス
	・WebOPAC予約用パスワード
	(イ) 以下の記録が可能
	・基本情報(住所等の個人情報)
	・貸出情報
	・予約情報
	・無効理由
	・最終利用日
	・最終更新日
	・カード再交付日付、回数
	・通知
	・重複登録のチェック
	・督促回数、日付
	・貸出冊数の累計
	(ウ) 以下の処理が可能
	・利用者情報の削除
	・利用者コードの再交付
	・通知
	・利用者情報の更新

④ 資料管理業務	
	・窓口業務へ即座に移動が可能
	・資料管理業務と資料検索がそれぞれ独立していること
	・資料種別ごと(図書、雑誌、AV)の登録が可能
	・資料種別ごとに登録項目名を変更が可能
	・各登録項目の追加・削除が可能
	・内容細目(目次等)の項目が十分にある
	・一般件名(キーワード)の項目が十分にある
	・自動ヨミフリが可能
	・複本の登録が可能
	・書名検索複写機能
	・除籍状態の書誌データを残すことが可能
	・配架場所の変更(資料コードをなぞるだけで複数件のデータの変更)が可能
	・通知の記録が可能
	・組替処理が可能
	・請求記号のシール印刷が可能
	・事情本(タグ管理)の登録が可能
(ア)	MARC
	・NDL MARCへの対応
	・静岡県立中央図書館総合目録への対応
(イ)	雑誌
	・上位登録と下位登録が可能
	・内容細目(目次等)で、特集・論文に対応する著者表示が可能
	・最新号を自動で期限禁帯にすることが可能
	・保存期限切れのリスト出力が可能
	・製本処理が可能
	・各種帳票の出力が可能
⑤ 帳票出力	
	・各種帳票の出力、印刷が可能
	・各種帳票のExcel・CSVなどでの二次加工が可能
	・資料コードをなぞるだけで資料リストが作成できる
(ア)	最低限必要な帳票類
	・資料別蔵書数(一般書、雑誌、AV、行政等、資料別の蔵書数)
	・資料別貸出数(資料別の貸出数)
	・日付別貸出数、予約数(日ごとの貸出数、予約数)
	・地区別貸出数(県内地域別(東部、中部、西部)の貸出数)
	・地区別登録者リスト
	・新規登録者リスト
	・蔵書数リスト
	・ベストリーダー
	・ベストリクエスト
	・雑誌タイトル別、巻号別の貸出統計
	・除籍資料リスト
	・不明資料リスト
	・受入リスト(資料種別、受入理由、書架指定等が可能なこと)
	・督促リスト
	・資料管理帳票(新着資料一覧、無効資料一覧など)
	・利用者管理帳票
	・発注リスト
	・発注短冊
	・相互貸借帳票

⑥ 蔵書点検業務	
	・蔵書点検作業が可能
	・除籍、紛失のデータ保存が可能
	・点検書架の指定、指定した書架での蔵書点検が可能
	・不明資料や、場所違い資料の出力が可能
⑦ 発注業務	
	・発注伝票(発注番号、タイトル、著者、出版社、分類番号)の出力(短冊型)が可能
	・発注リストの出力が可能
	・発注図書、未納図書の出力が可能
	・発注情報の参照機能
	・重複発注のチェックが可能
	・発注先の指定が可能
	・発注番号の付与が可能
	・受入処理
	・資料管理業務へ移動が可能
⑧ インターネットサービス	
(ア)	検索
	・簡易検索では、すべての登録情報からの検索が可能
	・詳細検索では、書名・著者名・出版社・発行年・キーワード・目次などからの検索が可能
(イ)	予約
	・WebOPAC予約用パスワード登録者による予約が可能
	・WebOPAC予約用パスワード登録者による予約取り消しが可能
	・予約資料の冊数制限
	・予約資料の連絡方法の選択が可能
	・予約資料の受取場所の選択が可能
(ウ)	パスワード
	・パスワードの登録、変更が可能
	・利用者がパスワードを忘れた場合であっても、図書館への問い合わせをせずに利用者自身がパスワードを更新できること。
(エ)	利用状況の確認
	・貸出状況、予約状況の確認が可能
	・データの一定の期間での自動更新が可能
(オ)	その他
	・個人情報などのセキュリティ対策が充分であること
	・静岡県立中央図書館の横断検索システムに対応可能であること
⑨ その他の機能	
(ア)	通知
	・所蔵データそれぞれに通知の付与、削除が可能
	・利用者データそれぞれに通知の付与、削除が可能
	・貸出画面、返却画面での表示
	・簡易操作での一括変更(例:資料コードをなぞるだけで複数の所蔵データに同じ通知を入力)が可能
	・マウスの右クリック機能
	・ショートカットキーでの処理が可能
(イ)	その他
	・すべての業務・処理名の変更が可能
	・すべての業務・処理へのパスワード設定が可能
	・すべての業務・処理で利用者の表示／非表示の選択が可能
	・休室日の設定の変更が可能
	・オフライン処理が可能
	・資料データ、利用者データのインポート／エクスポート処理が可能
	・他のアプリケーションへのデータの取り込み、吐き出しが可能
	・複数の業務を同時に行うことが可能

別紙2 ハードウェア機器仕様一覧表

1. 業務端末機器

- (1) ノート型パソコンとし、システムを快適に操作できること
(2) 数量：2台
(3) 機器仕様は下記以上とする。

機 能	仕 様	数 量	備 考
CPU	Intel Core i5-1235U	2	
メモリ	8GB	2	
SSD	256GB	2	
光学ドライブ	DVD-ROM ドライブ	2	
ディスプレイ	15.6 型 HD	2	
マウス	光学式・USB 接続	2	
キーボード	日本語キーボード (108 キー、テンキー)	2	
ソフトウェア	・ Microsoft Office Home & Business 2024 ・ ウィルス対策ソフトウェア	2	
OS	Windows 11 Professional 64bit 版	2	
環境対策	省エネ法/グリーン購入法/PC グリーンラベル/エコマーク /J-Moss グリーンマーク/RoHS/ハロゲンフリー樹脂/VOC への取組/エコレールマークの取得/環境負荷の低減 対策/資源の節約対策への環境対策や、認証マ ークを取得していること。	-	
その他	・ 保守性を考慮し、国内メーカー製品とする。 ・ 保守対応は土日休日含む訪問修理とする。 ・ 省エネルギー対応。	-	

2. 蔵書点検機器、蔵書点検機器用周辺機器

(1) 数量：2台

(2) 機器仕様は下記以上とする。

機 能	仕 様
CPU	32bit RISC
メモリ	32MB (ユーザーエリア：約 17MB)
読取コード	JAN/EAN-13・JAN/EAN-8 (アドオン付)、UPC-A・UPC-E (アドオン付)、Interleaved 2of5 (ITF)、Standard 2of5 (STF)、CODE-39、CODABAR (NW-7)、CODE-93、CODE-128、GS1-128 (EAN-128)、GS1 DataBar Omnidirectional (RSS-14)、GS1 DataBar Limited (RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)
読取方式	CCD 方式 光源：赤色 LED
電源	単 4 アルカリ乾電池 3 本または、eneloop 単 4 型 3 本 連続使用時間 アルカリ電池：約 85 時間 eneloop：約 70 時間
環境性	温度 動作：-5～50℃/20～80%RH(非結露) 保護等級 IP54
重量	128g 以下 (電池を含む)
周辺機器	通信ユニット、通信ケーブル、コミュニケーター、充電器・充電電池セット

3. バーコードタッチリーダー

(1) 数量：2台

(2) 機器仕様は下記以上とする。

機 能	仕 様
対応 OS	Windows 11
光源	赤色 LED（波長：625nm）
読取可能コード	JAN/EAN-13, JAN/EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODE-39, CODE-93, CODE-128, CODABAR (NW-7), GS1-128 (EAN-128), Interleaved 2of5, Industrial 2of5, GS1 DataBar (RSS-14 Omnidirectional / Stacked Omnidirectional / Stacked / Truncated) , GS1 DataBar Limited (RSS Limited), GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded / Stacked Expanded)
読取方式	ラインセンサー
読取距離	0～30mm
インターフェース	USB（キーボードエミュレーション） / 仮想 COM ポートエミュレーション
出力モード	キーボードイメージ
最小バー幅	0. 0.1mm（PCS=90%）
周囲照度	10,000 ルックス以下（昼光色蛍光灯）
読取角度	仰角±20°、傾角±3° （JAN 白黒 13 桁 JIS 標準ラベル使用時）
重量	約 79 g（ケーブルを除く）
適合規格	VCCI クラス B

4. ファイアウォール、ネットワーク機器

(1) 機器仕様は下記以上とする。

機 能	仕 様	数 量	備 考
ファイアウォール	・以下の機能を有すること ファイアウォール ・ファイアウォールスループット：5Gbps 以上 ・最大同時セッション数：700,000 以上 ・同時ユーザ数無制限	1	
スイッチングハブ	1Gbps 以上、8 ポート	1	